

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 103

政策体系	32	事業分類	施設管理費	所管部局	日吉支所 地域総務課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 10.交通対 現年		
事業名	駅関連施設管理運営費				
細事業名	日吉駅交流センター管理運営費				
評価表作成者				日吉支所 地域総務課	平田 聖治

1. 事業の概要

地域交通網の拠点として住民の利便性の向上と住民間の交流推進を図るため、当施設（交流センター）を開設し、多くの利用がある。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

- ・日吉駅交流センター
地域交通網の拠点として住民の利便性の向上と住民間の交流推進を図るため。
- ・日吉駅前広場
公衆の利便に供するため。
- ・日吉駅前駐車場
日吉駅と同駅前商店街の利用者の増加と利便性の向上を図るため。

②事業を実施する必要性

- ・日吉駅交流センター
園部駅以北となる本駅は市外から利用される方にとって列車の運行間隔が大きく、また、駅から観光地へアクセス（市営バス）の関係上待ち時間が長くなるため日吉駅交流センターを設置し待ち時間等の解消を行うものです。
- ・日吉駅前駐車場
日吉町内からの駅利用者（主に通勤等）の増加と利便性の向上を図るため駐車場の設置を行うものです。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	6,726	6,638	6,795	6,589	6,396	6,396	6,396
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	4,265	4,284	4,329	4,333	4,209	4,209	4,209
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	4,581	4,482	4,080	4,110	4,169	4,169	4,169
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,145	2,156	2,715	2,479	2,227	2,227	2,227
職員等の従事人員	人/年	—	3.39	3.25	0.25			
人件費	千円	—	7,729	6,905	2,111			
事業費総額	千円	—	10,083	9,372	4,368			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

日吉駅交流センター管理人賃金	4,332,560円〔賃金〕
日吉駅交流センター電気代	1,180,535円〔光熱水費〕
日吉駅交流センター敷地借上料	121,400円（使用料及び賃借料）

5. 事業結果の概要

管理人賃金
施設の照明等に係る年間の電気代
西日本旅客鉄道株式会社からレンタサイクル、交流センターに係る土地を賃借した。

6. 活動の詳細

イベントの開催		
日吉駅（旧殿田駅）、胡麻駅開業100周年記念事業	平成22年8月22日	殿田小学校児童の合唱 オープニングセレモニー （記念銘板の除幕） ミニSL乗車体験、記録写真の展示、模擬店他 主催：日吉駅100周年記念事業実行委員会
案内資料		
交流センター内に南丹市に関するパンフレット等を備え付けた。	年間	南丹市の宣伝
駅管理		
臨時職員3人による交代勤務で、365日駅業務を行った。	年間	JR乗車券簡易販売手数料 1,627千円収入
駅利用		
日吉駅の通勤・通学者による利用	年間	平成22年度1日当たり乗車 人員 340人（降車客含まず）
情報提供		
交流センター内に設置したテレビにより情報提供を行った。	年間	9チャンネルを通じ南丹市に関する情報を提供
貸付事業		
自転車を貸し出した。	年間	年間利用者 121人
駐車場		
駐車場を年間契約等により貸し出した。	年間	利用者年間契約 67人 一時利用 363人 稼働率 68%
敷地賃貸		
株式会社京都銀行、京都信用金庫のATM設置を許可した。	年間	利用者 （株）京都銀行 （一日平均 120～130人） 京都信用金庫 （一日平均 57人）

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

西日本旅客鉄道株式会社からの土地の賃借についての協議の結果、日吉駅については、平成22年度は平成21年度の半額となり、平成23年度以降は賃借料はなしとなった。
また、当該施設を含め、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

職員執務室にシャッターを設置し、安全性を確保した。
当該施設を含め、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行に当たり、議論を重ねた点
JR利用者について、どのようにすれば減少を食い止められるかを協議した。
- ②当該事業のアピール事項
JR利用の促進のため駐車場を確保し、利便性を向上させている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
日吉駅交流センター施設を含め、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。